

## 現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市立駅家南中学校東側渡り廊下外壁改修工事

（●印を適用）

1. 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」

第9条第1項に規定する対象工事

該当する

該当しない

2. 別途工事

・電気設備工事 ・シャッター改修工事

3. 現場の状況

設計図のとおり

4. 留意事項

① 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

② 工事中は学校運営と同時使用となるため、仮囲い等を設置し、事故の無いよう十分注意してください。

③ 工事期間中は、周辺地域、生徒、職員及び第三者の安全に細心の注意を払い、危険の無いよう対策を講じてください。構内管理については学校管理者との協議、調整を十分に行ってください。

④ 工事車両の出入り口と生徒・学校関係者の出入り口が重複するため、大型車等の出入りには必要に応じて交通誘導員を配置し、安全管理に努めてください。

⑤ 工事関係車両の駐車場は、学校管理者と協議が必要です。

⑥ 騒音・粉塵が発生する作業は、学校管理者と事前協議が必要です。

⑦ この工事は、建設リサイクル法の対象工事には該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物は適切に処理してください。

⑧ 実施工程表を契約後14日以内に提出するとともに、速やかに承認図、施工計画書等の承諾を受けてください。

⑨ 別途工事施工業者と調整が必要です。

⑩ 労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）としています。

⑪ 夏季休暇中（8月1日～9月1日）及び土、日、祝日を除く期間については、渡り廊下を使用できるようにしてください。通行禁止となる場合には、学校管理者と協議の上、作業を行うようにしてください。

⑫ 渡り廊下1階部分について、工事期間中も学校関係者車両の通行があります。安全に通行できるように十分配慮してください。

⑬ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

5. 工事における「第20回世界パラ会議福山大会2025」ロゴの標示について

「第20回世界パラ会議福山大会2025」が2025年5月18日から24日にかけて開催されます。

については、周知と機運醸成を図るため、工事現場に掲げる標識として、大会ロゴの標示のご協力をお願いします。

・使用するロゴは「第20回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に沿ったものとし、指定のデザインとする。

・「第20回世界パラ会議福山大会2025ロゴ利用規程」に定められた「大会ロゴ利用許諾申請書」の提出は不要とする。

・使用する大会ロゴは「大会ロゴデザインガイド」にて配色等が定められているので留意すること。

・大会ロゴの標示については任意事項とし、標示する際は、発注課へ必ず連絡すること。

・ロゴ標示期限は2026年(令和8年)3月31日とする。

(デザインデータについては福山市建設管理部技術検査課へ問合せください。)

対象とする。

# 福山市立駅家南中学校東側渡り廊下外壁改修工事

図 面 リ ス ト	
図面番号	図 名
1	図面リスト
2	外壁改修工事特記仕様書 No.1-1
3	外壁改修工事特記仕様書 No.1-2
4	外壁改修工事特記仕様書 No.2
5	外壁改修工事特記仕様書 No.3
6	附近見取図・配置図
7	平面図
8	立面図・断面図

福山市教育委員会事務局管理部施設課				2024年 4月		
主務	課員	次長	課長補佐	施設課長	部長	



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項									
7 石綿含有建材の除去及び処理	1 事前調査 <6.1.4.1>	目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。 (1) 使用部位の確認 (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要(内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 ※ 分析必要部屋名等 (※ 図示) 分析必要箇所 (箇所)	5 石綿含有保温材等の除去 <6.4.1~6.4.4>	③養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2)⑤により処理を行う。 ④後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。	1) 処理を行う石綿含有保温材等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	3) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(責任不要)を行う。 ②作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落とし・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 ③ 作業場の隔離を行う場合は、4 2)を適用する。 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし ・ 石綿含有吹き付け材の除去による除去物の処理 (※ 密封処理(二重袋梱包) ・ セメント固化) 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。	石綿含有保温材等の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(責任不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	石綿含有成形板等の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(責任不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 ・ 複層塗材E ・ 外壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・	石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 ・ 複層塗材E ・ 外壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・	2) 養生等 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて隔離養生(責任不要)を行う。 3) 除去工法 (施工場所: ※ 図示) ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用するなど粉じんの発生を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 ・ 埋立処分 (・ 安定型最終処分場 ・ 管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様 使用部位 ・ 複層塗材E ・ 外壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	2 石綿粉じん濃度測定 <6.1.3>	石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)最新版による。 測定点の取り方 (1) 処理作業前 ・ 処理作業室内(点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界(2点) (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内(点) ※ セキュリティゾーン入口(点)・・・空気の流れを確認 ※ 負圧・除じん装置の排出口(点)・・・除じん装置の性能確認 ・ 施工区画周辺又は敷地境界(2点) (3) 処理作業後(離隔シート撤去前) ・ 処理作業室内(点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界(2点)		6 石綿含有成形板等の除去 <6.5.1~6.5.4>								1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(責任不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	石綿含有成形板等の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2) 養生等 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う。 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場所の隔離養生(責任不要)を行う。 ②除去した石綿含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことその他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石綿含有石こうボード ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設) なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 5) 確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 ・ 複層塗材E ・ 外壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様 使用部位 ・ 複層塗材E ・ 外壁 ・ ・ ・ ・ ・ ・
	3 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9>	1) 専門事業者 石綿含有吹き付け材の除去を直接行う専門事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出すること。 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 ②排出事業者は、石綿含有吹き付け材、石綿含有保温材等の除去工事で、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 3) 除去作業者 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号、以下「石綿規則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴う石綿粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督員の承認を受けること。 5) 表示及び掲示 ①関係者以外立ち入り禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性、取扱上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6) 保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しにくく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立ち確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 7) 官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画書(労働基準監督署) ②「石綿規則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出(都道府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) 8) 適用基準等 ※ 「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・問解説」		7 石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去								1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
	4 石綿含有吹き付け材の除去 <6.3.1~6.3.4>	1) 処理を行う石綿含有吹き付け材の仕様及び部位 ※ 図面による ・ 下記による		7 石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の除去								1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 ・ 下記による ※ 図面による	石綿含有仕上塗材の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様 使用部位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					



福岡市教育委員会事務局管理部施設課

工事名称 福岡市立駅南南中学校東側渡り廊下外壁改修工事  
図面名称 外壁改修工事特記仕様書 No.1-2

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理			
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4. 2. 5] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 1. 0mm超		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4. 2. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-4 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4. 3. 6] ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm			
改修前	改修後																
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (・全面 ・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)			
設計数量		㎡		設計数量: 25.0 ㎡		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm ( ) m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm ( ) m ( ) 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量: m		設計数量: m		設計数量: ひび割れ幅 0. 2~0. 5mm ( ) m ひび割れ幅 0. 5~1. 0mm ( ) m ( ) 内は単動ひび割れ数量を示す		設計数量: m			
名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理							
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2~1. 0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり							
改修前	改修後																
工程		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①鋼鉄筋周辺のはつり ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②鋼落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)		①カッター縁切り (C-3) ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm)							
設計数量		25.0 m		設計数量: m		設計数量: 30.0 m		設計数量: m (カッター縁切り: m)		設計数量: 3.0 ㎡ (カッター縁切り: m)							
名称		D 浮き部処理				D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 11] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 9]				D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 12] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 10]							
改修前	改修後																
工程		①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド (250×250) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (200×200) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※アンカーピン固定部		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入孔穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※アンカーピン固定部 ※注入孔					
設計数量		①一般部分: 30.0 ㎡ [球状樹脂] ②指定部分: 4.0 ㎡ ③嵌幅部: 25.0 m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m							
名称		D 浮き部処理				D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 13] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 11]				D-5 モルタル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 14] D-5' タイル面注入付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 12]							
改修前	改修後																
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入孔穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [球状樹脂] 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		①一般部標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※アンカーピン固定部 ※注入孔		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入付) 挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1. 5mm±0. 5mm) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		①一般部標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分) ②指定部標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等) ③嵌幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ※注入付アンカーピン固定部					
設計数量		①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m		設計数量: ①一般部分: ㎡ ②指定部分: ㎡ ③嵌幅部: m							



福山市教育委員会事務局管理部施設課

2024年 4月

福山市立駅家南中学校東側渡り廊下外壁改修工事

外壁改修工事特記仕様書 No.2

図面No

4/8

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 3. 15] D-6' タイル面注入付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13]	
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①一般部分標準グリッド (165×165) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (125×125) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③破損部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅狭い箇所)</p> <p>④注入部穿孔 (注1)</p> <p>⑤注入部</p> <p>⑥注入部アンカーピン固定部</p>

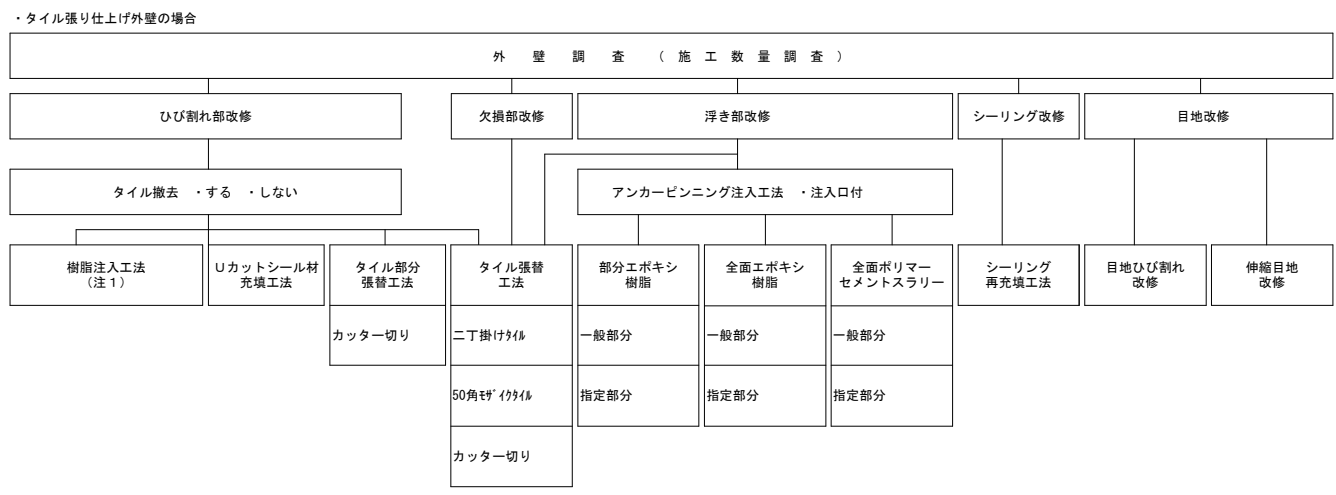
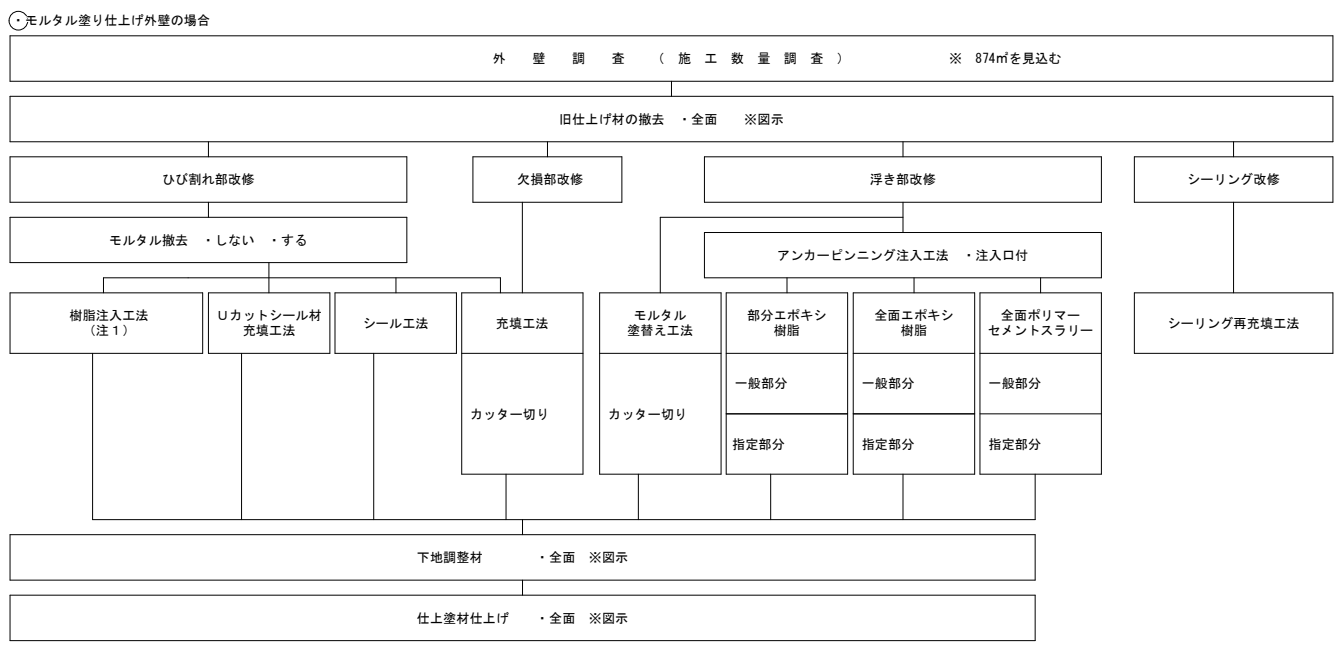
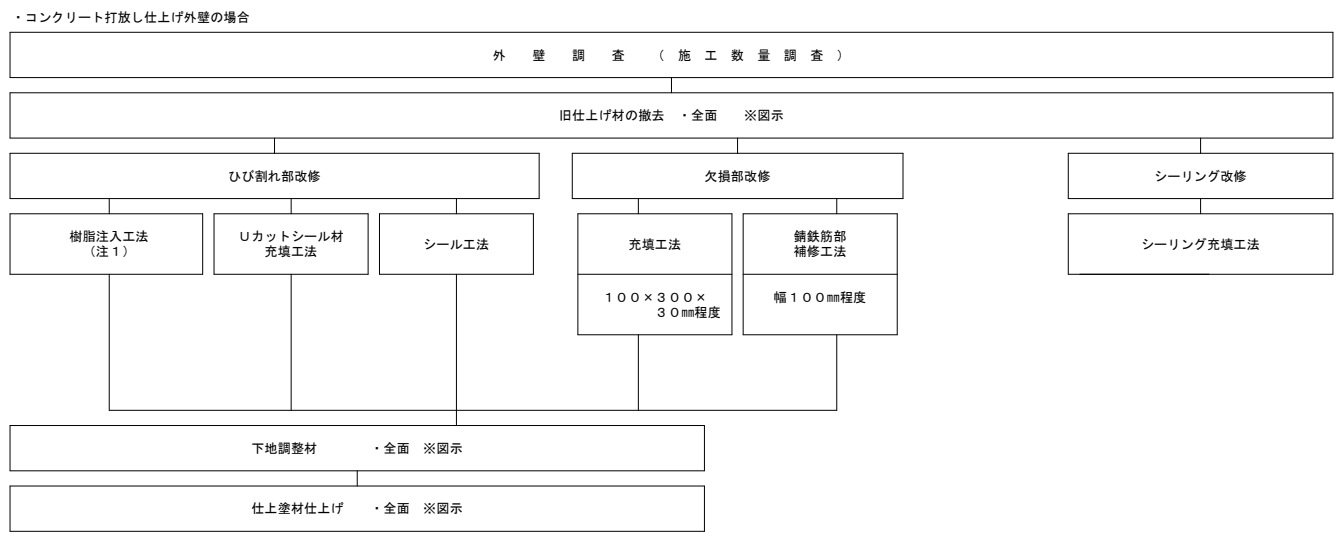
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 3. 16] D-7' タイル面注入付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	D-8 タイル面注入付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 4. 15]
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し [※'97-セメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③破損部：m</p>	<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン（注入付）挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>設計数量：㎡</p>

名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 2. 8]	E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 2. 3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]
改修前			
改修後			
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ③欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量：㎡</p>	<p>①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む</p> <p>設計数量：㎡</p>	<p>①カッター縁切り (C-3) ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④欠損部はつり部埋戻し [※'97-セメントパテ又は※'97-セメントパテ] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：1.0㎡ (カッター縁切り：m)</p>

名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	<p>下地補修後</p> <p>①プライマー下塗り ②ポリマーベスト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーベスト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L30×15×2.0 ステンレスビス止φ450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p> <p>設計数量：㎡</p>	

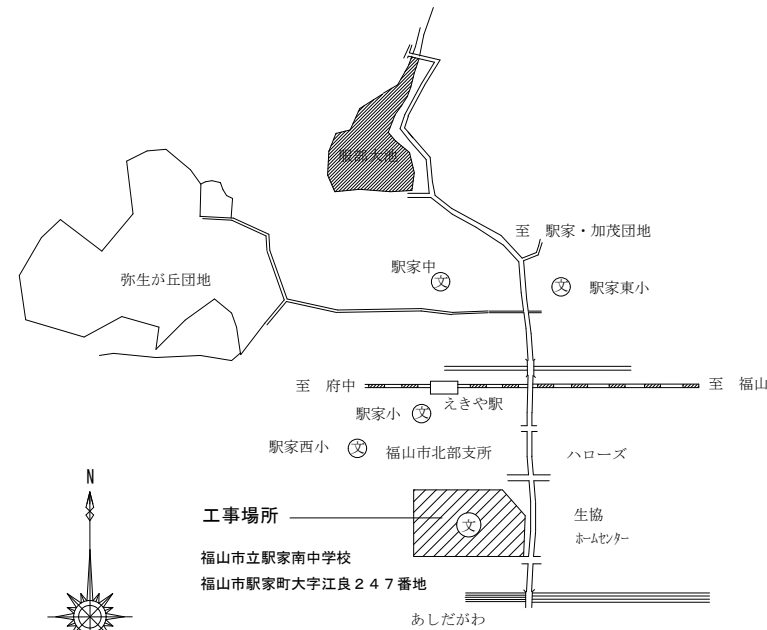
設計数量	ネット張り	㎡
	水切	m

外壁改修フロー図

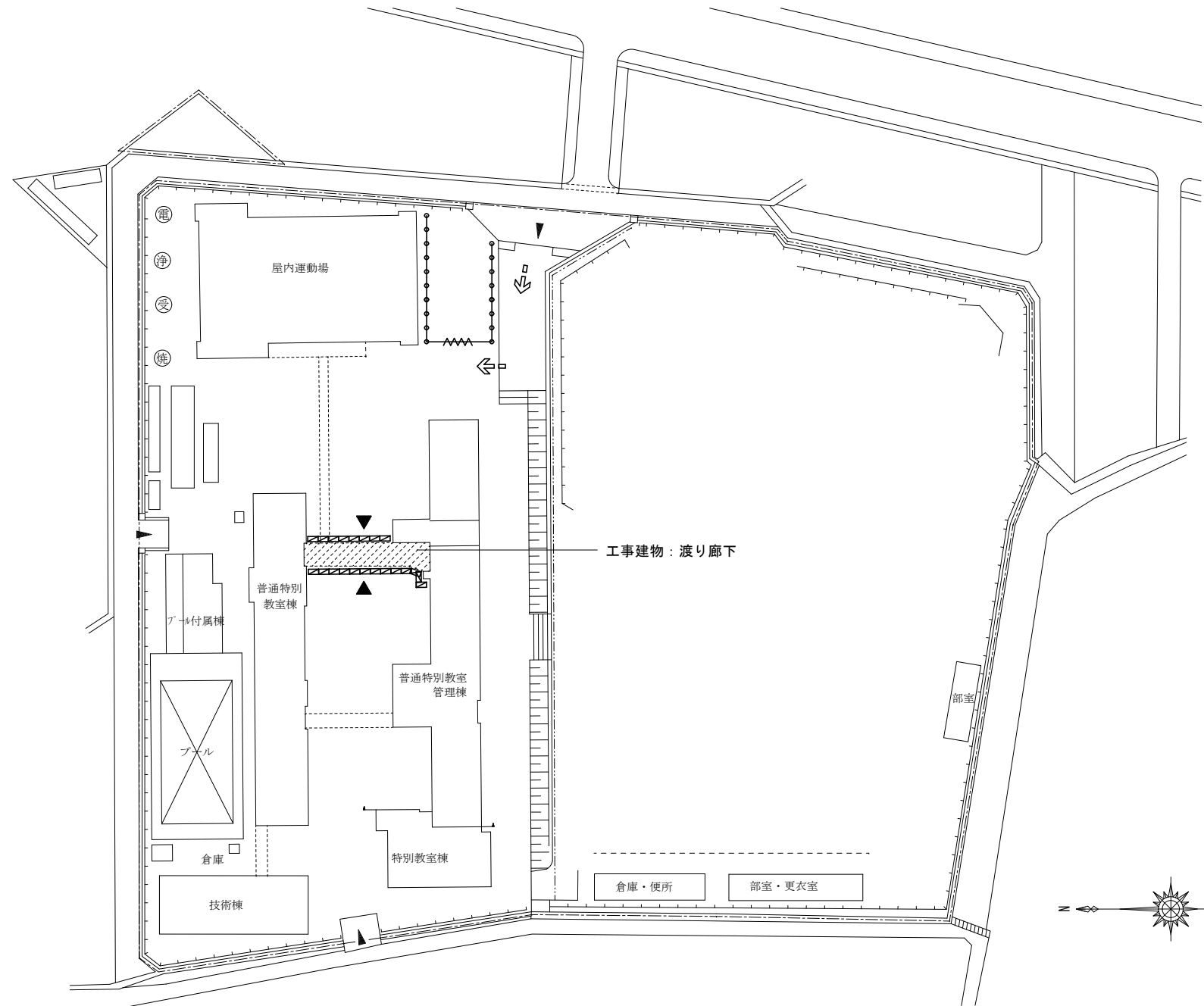


(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す

情報共有システム	受注者は、次表に従い、情報共有システムを利用する。	
	金額	利用形態
	設計金額3,500万円以上 当初契約金額500万円以上	受注者指定型 受注者希望型
発注者指定型の場合、システム利用料を定めている。		
本工事で利用する情報共有システム <広島県工事中情報共有システム>http://www.hdobokuk.or.jp/koujiyouhouhishitemu2.html		
受注者は、情報共有システムの利用の有無について、契約後速やかに発注者にその旨を協議し、決定すること。		
受注者は、情報共有システムを利用する場合、(一社)広島県土木協会に利用申し込みを行い、利用料を支払うこと。		
情報共有システムの利用は次によること。		
・福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)		
・情報共有システム利用手引(建築工事)		



附近見取図 No Scale



配置図 S=1:500

仮設工事特記事項

- ① 工事車両出入口は原則として東門とする。但し、職員・生徒の安全に十分注意すること。
- ② 工事車両出入口：キャスターゲート程度とし、通行時のみ開放する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板等を敷いて養生する。  
(仮囲い範囲内並びに敷地内の搬出入経路について、工事により損傷した場合には、現状回復を行う)
- ④ 改修建物の周囲にある雨水排水施設を壊さないように注意する。  
(既存施設を傷めた場合には復旧する)
- ⑤ 生徒の移動が集中する時間帯(登下校時、休憩時間等)は重機、資材の搬入を避ける。
- ⑥ 車両通行部は地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設等については、発注者の考え方を示したものであって、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設計画をたてる前に、学校関係者及び監督員と十分協議する。
- ⑨ 仮設計画は監督員の承諾を得る。
- ⑩ 仮設足場(先行足場、枠、階段共)には、養生シートを張り埃等の飛散を防ぐこと。
- ⑪ 生徒及び第三者が、工事エリアに入らないように、1段目には金網を設置し、施錠付きの出入口を設けること。
- ⑫ 昇降所等の建物出入口には、落下防止対策を講じること。
- ⑬ 足場解体後は、現状復旧すること。
- ⑭ 渡り廊下1階部分は、車両が通行できるようにすること。
- ⑮ 夏季休業期間を除き、生徒が渡り廊下を使用できる計画とすること。

仮設工事凡例

記号	内容
○—○	仮囲い：鋼製仮囲い H=2,000
〰〰〰	キャスターゲート W6,000xH1,800
⇄	工事車両進入路
□	仮設足場
▲	生徒出入口(足場部出入口養生)





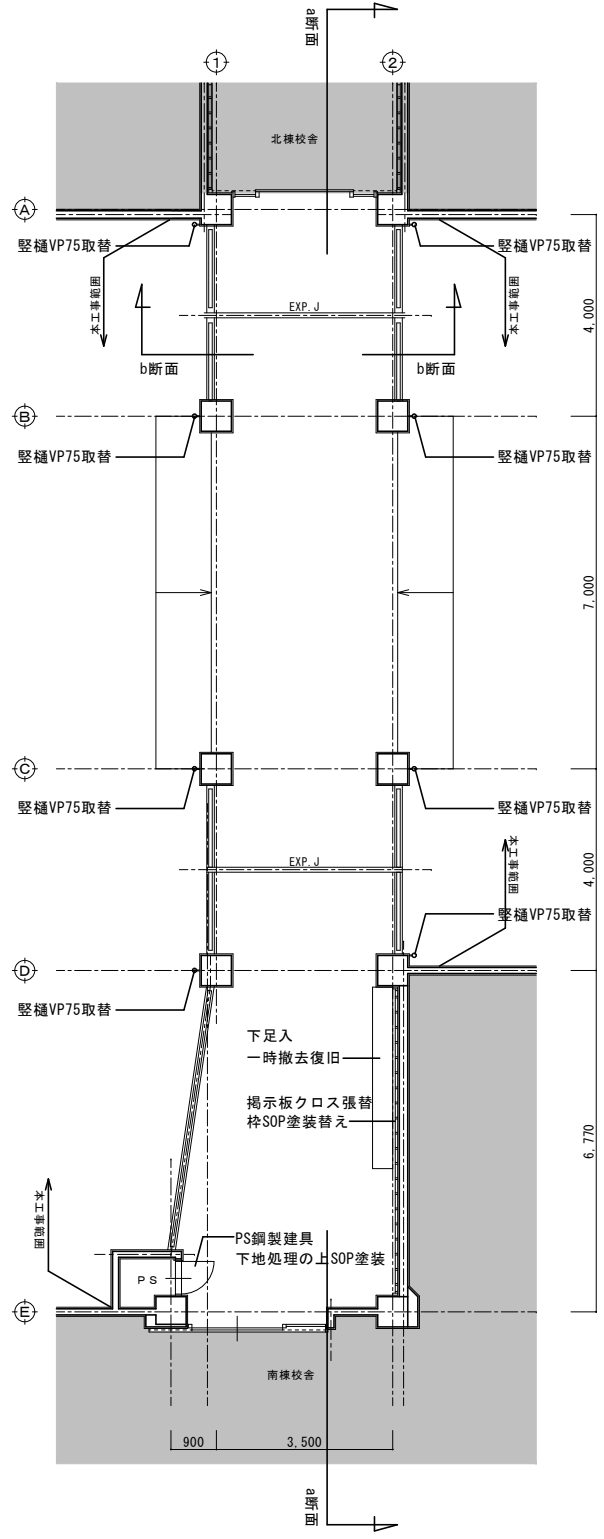
※1階及び2階の天井には設備配管（露出）が設置されているため、施工の際には適切に養生を行うこと。

※天井配管及び鋼製吊り金物は、下地処理の上、DP塗装替えを行うこと。

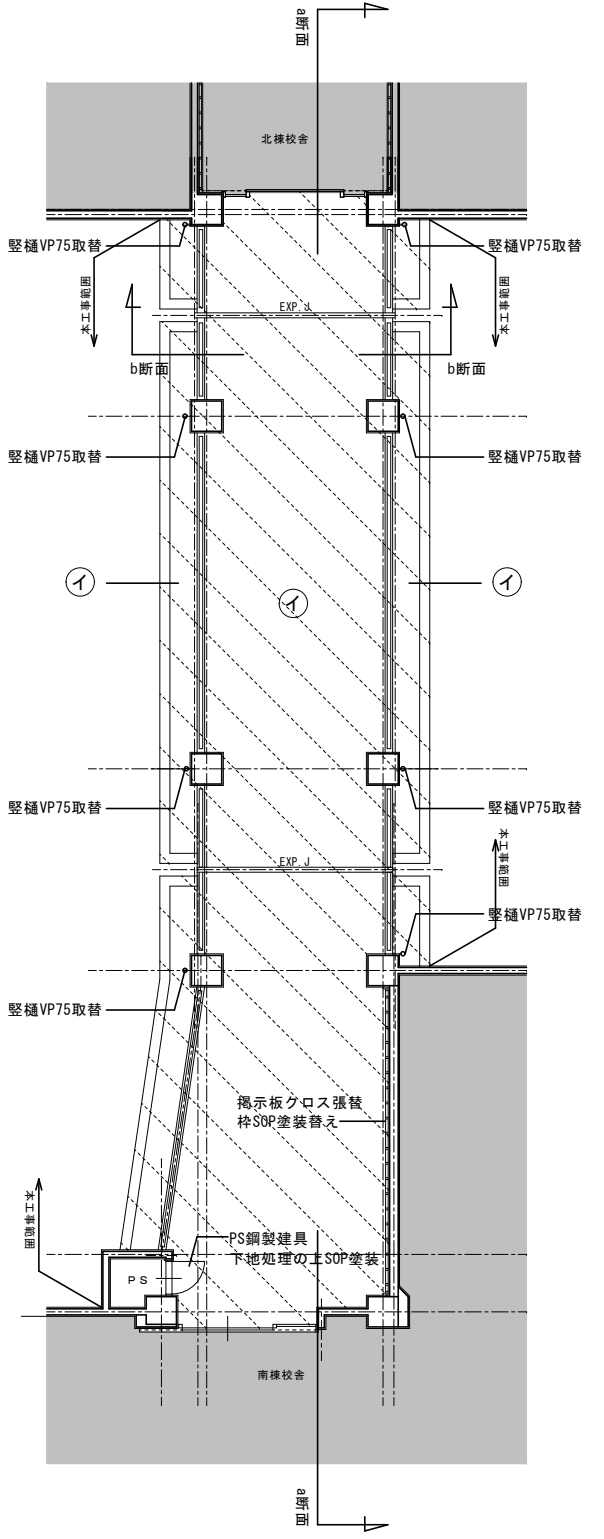
※笠木、アルミ手摺及びEXP.Jについて、取合いシーリングを打ち替えること。

※外壁モニュメント・壁掛け時計は一時撤去、復旧のこと。

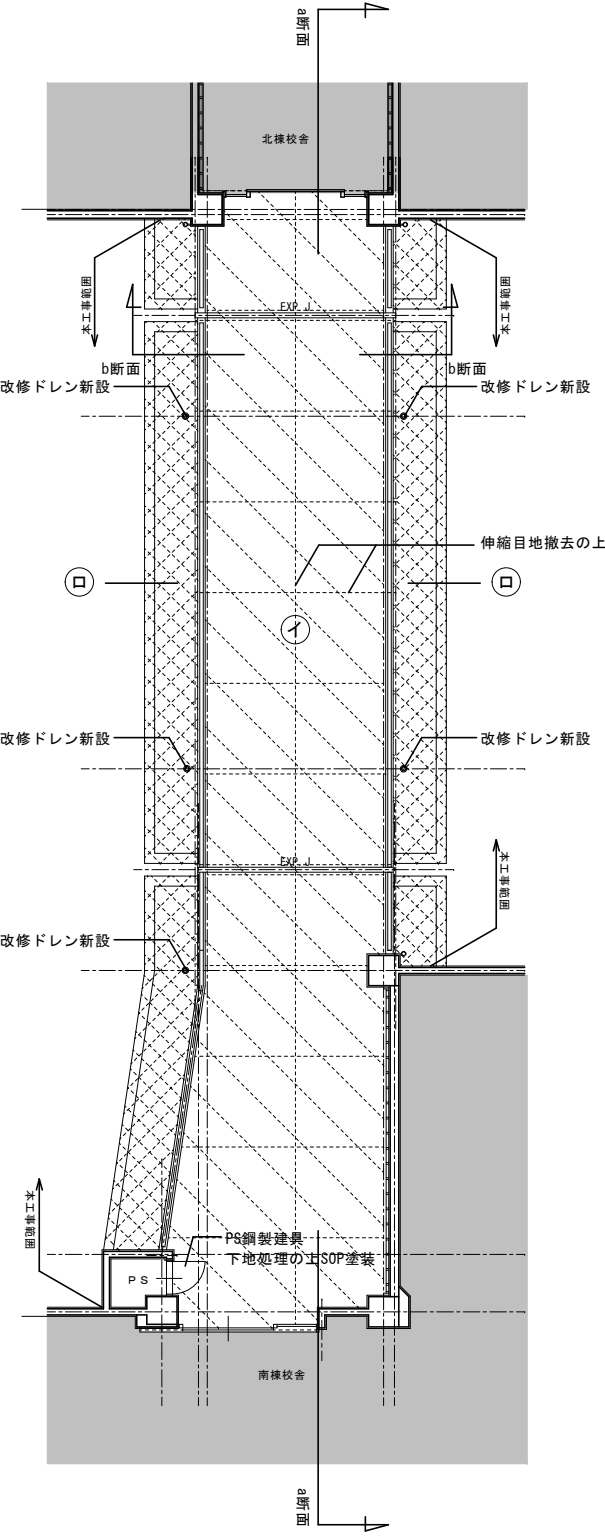
施工範囲		仕上げ
①	既存	防水モルタル金コテ押え コテ目地切
	改修内容	高圧洗浄、クラック処理、下地処理（目地埋め含む）の上、ウレタンゴム系塗膜防水（X-2工法） ※平部は防汚仕様とすること EXP.J部端部シーリング仕舞
□	既存	均しモルタルの上、合成高分子系ルーフィング露出工法
	改修内容	既存防水層撤去、水洗い、下地調整の上、接着工法（S-F2） 端部金物押え シーリング仕舞 アルミ笠木一時撤去、復旧（既存利用）



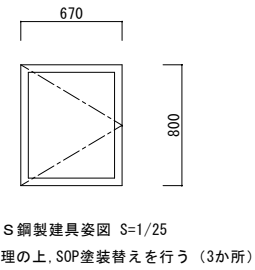
1階平面図 S=1:75



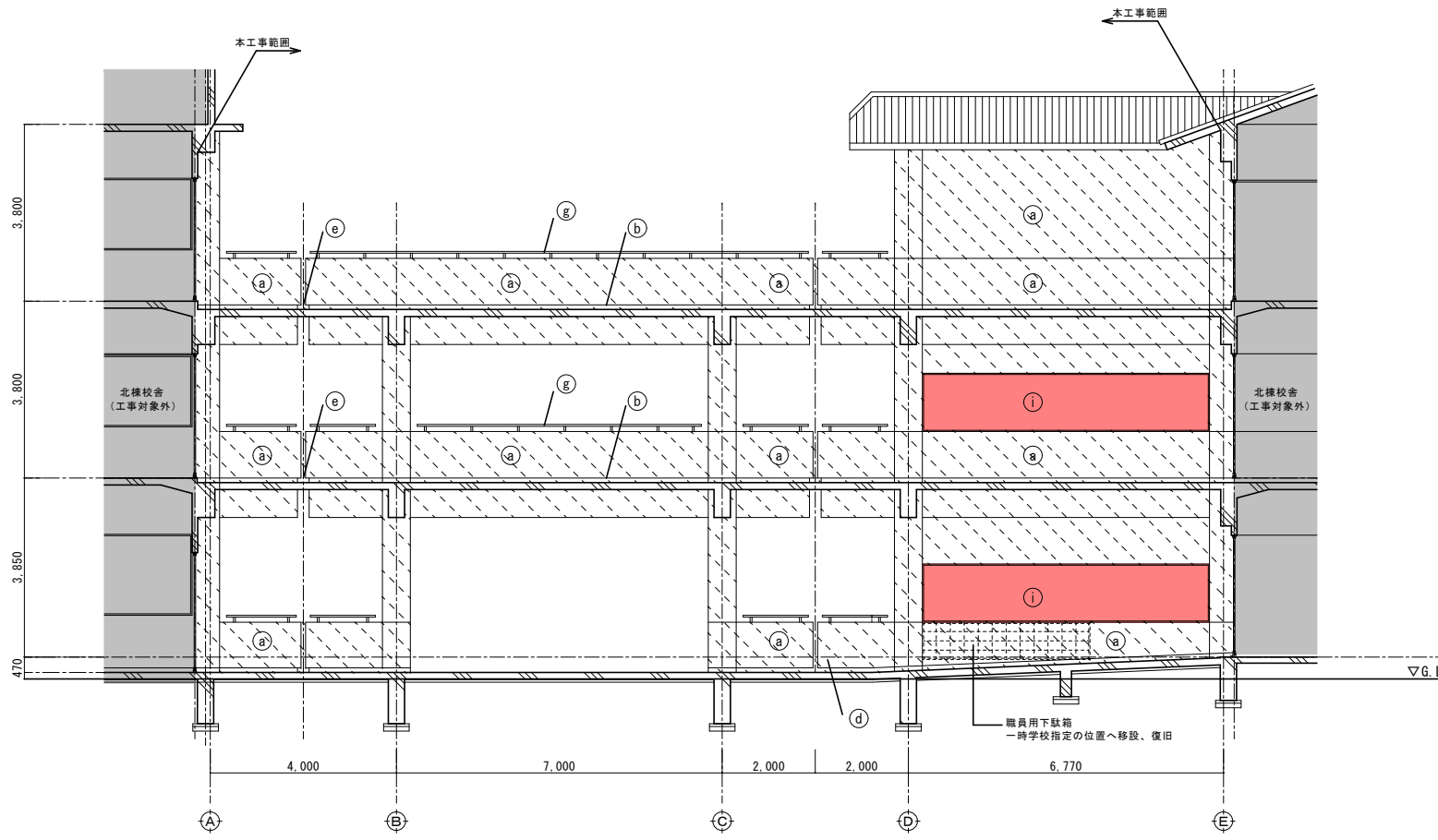
2階平面図 S=1:75



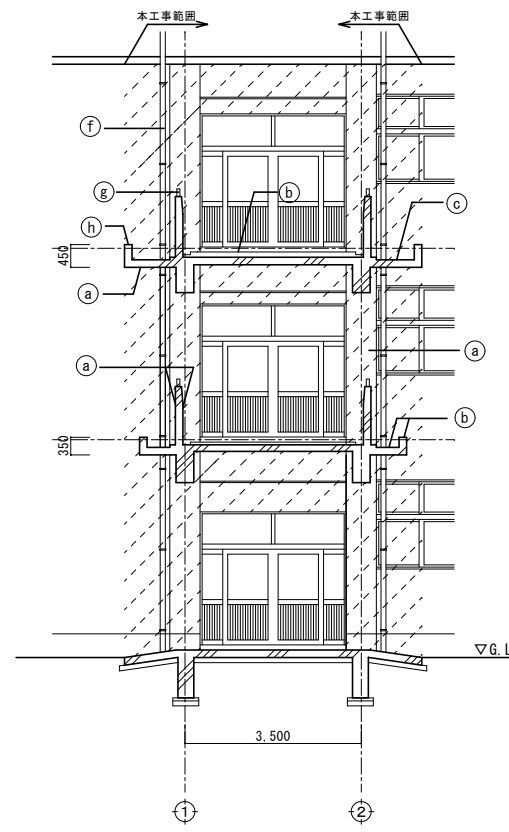
3階平面図 S=1:75



A1: 100%  
A2: 50%



a-a断面図 S=1:75



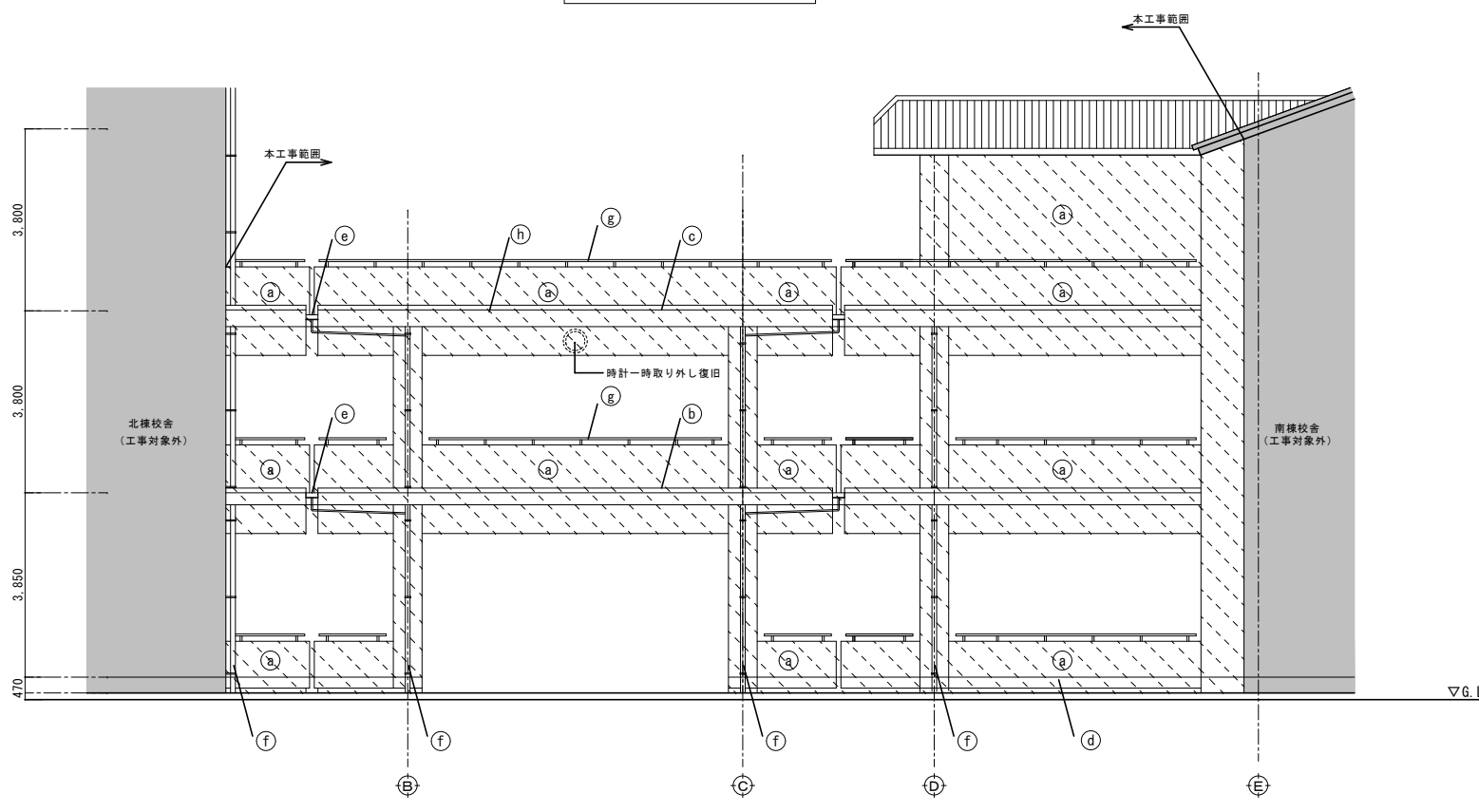
b-b断面図 S=1:75

※1階、2階の天井配管受金物・吊り金物は、下地処理、錆止の塗装の上DP塗装とする

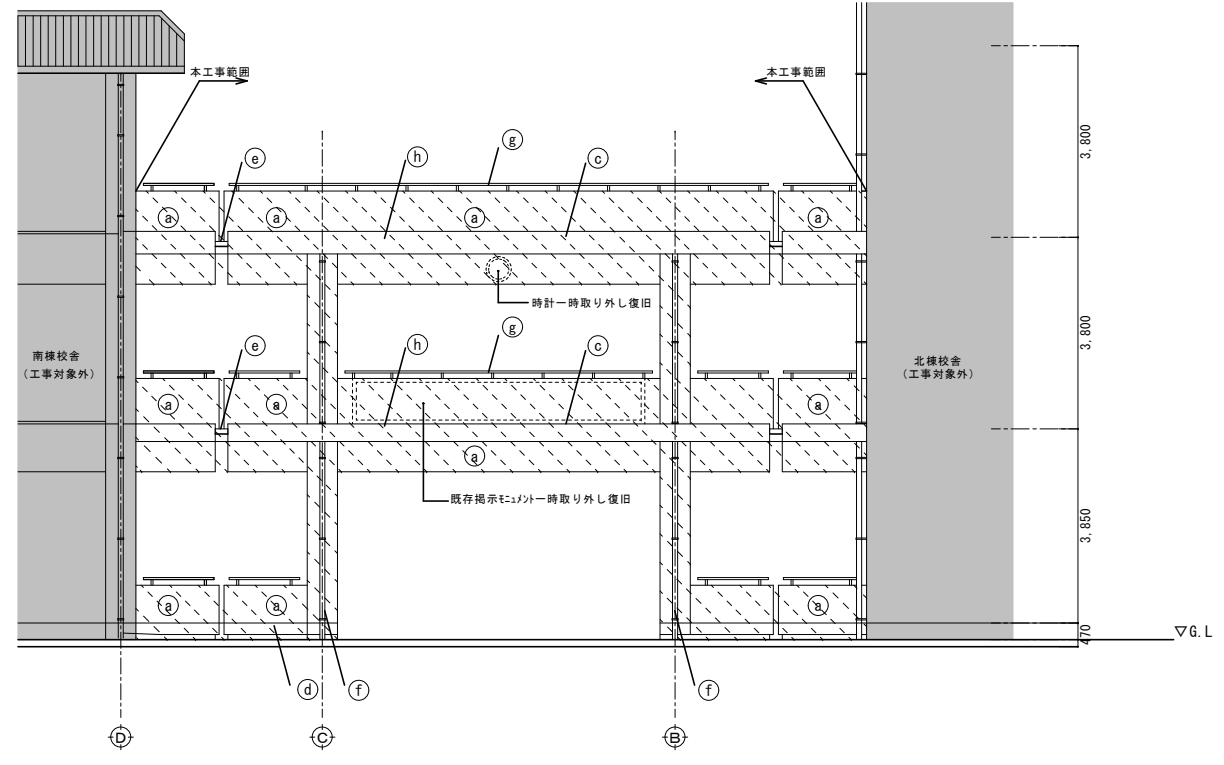
外壁劣化改修範囲を示す

符号	仕 上 げ
a	既 存 外壁：モルタル刷毛引き リシン吹付
	改修内容 高圧洗浄、劣化改修、下地処理の上、 壁：複層塗材Eローラー塗リ 軒裏：外装薄塗り材E吹付
b	既 存 保護モルタル金コテ押え 伸縮目地切
	改修内容 水洗い、下地処理の上、ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2工法)
c	既 存 均しモルタルの上、合成高分子系ルーフィング露出工法
	改修内容 既存防水層撤去、水洗い、下地調整の上、接着工法 (S-F2)
d	既 存 巾木：モルタル金コテ押え
	改修内容 既存のまま
e	既 存 アルミEXP、Jカバー
	改修内容 清掃の上、端部シーリング
f	既 存 縦樋：VP75
	改修内容 撤去、カラーVP75取付
g	既 存 アルミ手摺
	改修内容 清掃の上、端部シーリング
h	既 存 アルミ笠木
	改修内容 清掃の上、端部シーリング
i	既 存 掲示板
	改修内容 掲示板クロス張替 縦線SOP塗装替

共通事項  
 ※複層塗材Eローラー塗リ：高圧洗浄(15MPa程度)、劣化部改修、下地調整(C-1)  
 外装薄塗り材E吹付：高圧洗浄(15MPa程度)、劣化部改修、下地調整(C-1)  
 ※外部建具、躯体取合部 変成シリコン系シーリング(MS-2)打替  
 ※外部配管・配線 DP塗装替(計300m程度) (SUS製及び塗装劣化のないものは除く)  
 ※配管受け金物(吊り金物含む) DP塗装替(計50か所程度) (SUS製及び塗装劣化のないものは除く)  
 ※外壁塗装色及び塗分けは、既存色に準じることとし、3色塗分け(扉壁・柱、天井・庇)とする。



西側立面図 S=1:75



東側立面図 S=1:75

# 参考数量書

§ 工事名称 福山市立駅家南中学校東側渡り廊下外壁改修工事

§ 工事場所 福山市駅家町大字江良247番地

## 特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

# 設 計 書

工事名称 福山市立駅家南中学校東側渡り廊下外壁改修工事

工事場所 福山市駅家町大字江良 2 4 7 番地

## 【工事概要】

外壁改修工事 一式  
防水改修工事 一式

対象建物 渡り廊下  
鉄筋コンクリート造 3階建  
延べ面積 100.16 m<sup>2</sup>

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				



渡り廊下					
名	称	数 量	単 位	金 額	備 考
仮設工事		1	式		
外壁改修工事		1	式		
発生材処分		1	式		
	計				























